

人のうわさとどう向き合うか

荒木中学校 一年

「Aさんが、〇〇ちゃん（私）たちの悪口言っていたよ。」と友達のBさんが私に教えてくれた。それを聞いた私は、とてもショックを受けた。かげで悪口を言われると、すごく嫌な気持ちになるし、自分の知らないところで何を言われているのか不安な気持ちで過ごさなければならなくなってしまう。それに、その人のことを信じられなくなってしまう。それでも、一緒に悪口を言われていた友だちと、「私たちは悪いことをしていないのだから、気にしないようにしましょう。」と決めた。

しかし、時間が経てば経つほど、ある疑問が浮かんできた。それは、「Bさんは、なぜ私たちにわざわざそのことを教えたのだろう」ということだった。もちろん、私たちのために親切心で教えてくれたのかもしれない。悪口を言うAさんを許すことができずに、正義感から教えてくれたのかもしれない。理由はわからないけ

れど、「悪口を言われていた」ことをその相手に知らせることが、本当にその人のためになるのだろうか。そのことを知らされたとき、その人がどんな気持ちになるのか少し想像してみるだけで、自分にはそんな残こくなことはできないような気がする。だからと言って、知らないままにいる方が可哀想なことなのだろうか。

そんなことを考えていたとき、またショックな出来事が起きた。今度はAさんから

「Bさんが〇〇ちゃん（私）たちの悪口を言ってたよ。」と、どこかで聞いたような話を聞いたのだ。私は頭が混乱してしまった。「Aさんの方が、私たちの悪口を言っていたんじゃないの。」「結局、Bさんも私たちの悪口を言っていたということなの。」と、分からないことだらけだった。一体何が真実で、誰を信じればいいのか分からなくなってしまった。

私は、この経験を通して二つのことを学んだ。一つは「人のうわさにまどわされないようにしよう」ということだ。結局、AさんもBさんも「自分は悪口は言っていない」と言う。そ

れが本当かどうか確かめようはないけれど、自分が直接見たり聞いたりしたことではないことで、傷ついたり悲しんだりするのはちがうと思ったからだ。

世の中は、色々なうわさであふれてる。テレビやSNS上でも、たくさんの情報が流れてくる。それは、人々の好奇心から生まれたり、不安感から広まったりしているのだと思う。しかし、大切なことは、うわさをうのみにしないということ、うわさの出所が信用できる情報源かどうかを確認することなのだと思う。

二つは、「簡単にうわさ話をしない」ということだ。これまで、私自身もうわさ話をしてしまったことがある。その時は、あまり深く考えていなかったが、発言する前に、それが本当に正しい情報かどうか確かめたり、うわさをすることで誰か傷つく人がいないかを考えたりすることが大切なのだと思う。うわさという無責任な行動をする前に、立ち止まる心の強さをもちたい。